



京山だより

ホームページ <http://kyogase-es.agano.ed.jp/>
メールアドレス kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp

令和2年10月7日
第6号
阿賀野市立京ヶ瀬小学校
Tel.0250-67-2103

京ヶ瀬小学校

検索

自動車教習所のように

校長 駒形 哲宣

自動車教習所では、先生が教習生の隣に座り、教習所内で運転の仕方や交通ルールを教えてください。常に、道路に出て運転する時に事故を起こさないように、同じルールを一貫して教えてください。教習生は、いつも隣で先生に見守ってもらえるので、安心して練習できます。もし、先生によって教えることや言うことが違っていたら、混乱してしまい、運転が上達しないでしょう。また、将来、交通事故につながるようになるかもしれません。

さらに、自動車を縁石に乗り上げたり、S字カーブなどで失敗したりしても、先生は見守っています。それ自体が学びだと分かっているので、失敗しても怒りません。それよりも、その後どうすればうまく運転できるのかを繰り返し教え、できるまで何度でも繰り返しさせます。

自動車教習所の教え方は、子育てと似ているように思えます。

教習所の先生が保護者の皆さんです。教習生は子どもたちです。

最終的な目標は、保護者の皆さんが「助手席」から降りて、子ども自身が「自分一人の力で運転」できるようになることです。そのために今は、家庭でルール・マナーをしっかり教え、自分のことは自分でできるように身に付けさせ、「道路」＝社会に送り出す準備をしているのです。

たとえ失敗したとしても見守り続け、できるようになるまで根気強く教えることで、子どもたちは安心感をもち成長していけるのだと思います。

学校も同じです。

例えば、

- ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。
- ・人の話は、相手を見て・口を閉じて聞く。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を正しい書き順で書く。
- ・わり算の筆算は、「たてる⇒かける⇒ひく⇒おろす」の順に計算する。

など、ルール・マナーや教える学習内容は担任が変わっても同じです。指導方法はいろいろですが、子どもたちに同じことを何度も繰り返し教えます。しかも、身に付くまで根気強く教えます。

保護者の皆様と一緒に子どもたち一人一人の成長を支援したいと思いますので、引き続きご理解・ご協力をお願いします。

引き渡し訓練 9月14日(月)

9月14日(月)に、大地震発生を想定した避難訓練・引き渡し訓練を行いました。

当校で行う初めての引き渡し訓練で、職員で何度も話し合いを重ねました。事前の調査で、全校児童の84.3%にあたる274名(延べ人数)の保護者の参加があることが分かりました。

引き渡し時間を40分間に延長したり、グラウンドを臨時駐車場にしたりするなど、変更がありました。保護者の皆さまには、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

実施後の反省をもとに、よりスムーズに引き渡しができるよう、改善に努めます。



5年生 自然教室 9月23日(水)

秋晴れの中、5年生が五頭連峰少年自然の家で自然教室に行ってきました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は日帰りで、カレー作りとオリエンテーリングを実施しました。

はじめに、カレー作りをしました。1つの班が4、5人と少数です。4人の班は、特に力を合わせなければいけません。薪にマッチで火をつけます。薪に火がつくと、歓声が上がりました。

「野菜はこれくらいの大きさでいい?」「うちではもっと大きいよ」「大きすぎない?」と、家庭での経験が生きてきます。

「水、入れ過ぎないようにね」「ご飯はうまく炊けるかな」とたくさんの言葉が飛び交います。

出来上がったカレーは、どれもおいしくできました。「カレー汁」になった班が一つもありませんでした。

飯ごうで炊いたご飯も、多少固くなった班がわずかにあったくらいで、とてもおいしいカレーライスができました。

「このカレー、おいしい!」「おかわりしたい!」「外で食べるのっていいね」「自然の中で食べるとおいしいね」と、とても好評でした。



その後、オリエンテーリングを行いました。大自然の中を、地図を手掛かりに、チェックポイントを探していきます。

「あっ!見付けた」「このあたりに『3番』があるはずだよ」と、みんなの顔が真剣になりました。

今回は、満点のチームが出ました。

持久走記録会 9月30日(水)

快晴の中、持久走記録会を行いました。走る距離は、昨年度より100m伸びて、1・2年生1,100m、3・4年生1,300m、5・6年生1,600mです。

今年度は、PTA 体育委員さんをはじめとして19名の保護者ボランティアの方々からお力添えをいただきました。さらに、大勢の保護者の皆さん、地域の皆さん、園児の皆さんから力強い応援をいただきました。



当日は、「自己ベストめざして、がんばる!」「おうちの
人来るから、がんばる」「絶対10位以内に入る」など、一人一人がめあてをもって臨みました。

スタートラインに立つと、どの子も真剣そのものです。途中で転んでしまっても、すぐに立ち上がって、走り始めます。たくましい子どもたちです。

また、ゴールに近づくにつれ、険しい、苦しい表情になります。しかし、「絶対に歩かないぞ!」という強い気持ちが伝わってきます。歯を食いしばって、力走を見せてくれました。沿道からの応援を力に変えて、スピードを上げていきました。応援せずにはいられなくなります。

沿道では、園児の皆さんから「がんばれ〜」と、かわいい声援をいただきました。

ゴール前の直線は、デッドヒートが繰り広げられます。おうちの人の声援もひととき大きくなります。

走り切った後、涙を浮かべる子がいます。悔しい気持ちがあふれたのでしょうか。次の年につながりますし、大きく成長できるきっかけになります。

グラウンドに、あおむけに寝転ぶ子がいます。力を出し尽くしたのでしょうか。まぶしいほどの青空が広がっていました。出し切った苦しさが徐々に薄れ、広大な自然にすがすがしさを感じたことでしょうか。

持久走記録会がより価値あるものになるよう、各学級で振り返りました。子どもたちの一つの「経験」となって、「これからは…」「来年は…」と感じてほしいものです。

子どもたちは、一人一人がめあてを立てて、自己ベスト更新やさらに上の順位を目指して、一生懸命走り抜きました。たくさんの保護者の皆さん、地域の皆さんの応援があり、どの子も力強い走りを見せてくれました。

ボランティアの皆さま、ご協力ありがとうございました。

【コスモス班でクイズ大会】 9月30日(水)

毎週水曜日は、清掃の時間に「コスモスタイム」を位置付けています。その時間に、学級やコスモス班ごとに活動し、お互いの絆を深めています。

その日は総務委員会主催で、「Zoomを使ったクイズ大会」を行いました。Zoomとは、パソコンを使って会話や会議ができるアプリです。

子どもたちは、コスモス班ごとに班で1台のパソコンを持って、それぞれの清掃場所に行きます。画面をのぞき込んで、クイズに答えていきました。



「1年生のクイズだよ。指で、1とか2とか3とか示すんだよ」と、優しい6年生がやり方を教えてくれます。問題が出されるたびに、大盛り上がりです。「①かな?」「②じゃないかな」と、班の中でも相談が始まります。とってもほほえましい姿です。

みんなが楽しめるように、相手を気遣い、やさしい言葉を使います。心を大きくさせる大切な活動です。

【京小ボランティア活動始めます】

当校では子どもたちの教育活動をより一層充実させるために、「京小ボランティア」を立ち上げることとしました。地域や保護者の皆様の「経験」や「知恵」、「子どもたちへの愛情」を力として、子どもたちの教育環境の整備を図り、子どもたちが地域に学び、地域を愛する心を育みたいと考えました。

今年度は、次の5つのボランティアさんを募集し、ボランティアさんのアイデアを取り入れながら、活動をどんどん広げていけたらと考えています。

遊びボランティア

- ・昔の遊び
けん玉・めんこ・お手玉など
- ・一緒に遊ぼう
サッカー・バスケット
鬼ごっこなど



図書ボランティア

- ・本の読み聞かせ
- ・図書室の整理
- ・本の修理



学習ボランティア

- ・習字の先生やミシンの先生などの〇〇先生
- ・学習の支援や補助
- ・校外学習の見守り

おそうじボランティア

- ・一緒におそうじ



あいさつボランティア

- ・朝のあいさつ
- ・お昼のあいさつ
- ・下校時のあいさつ